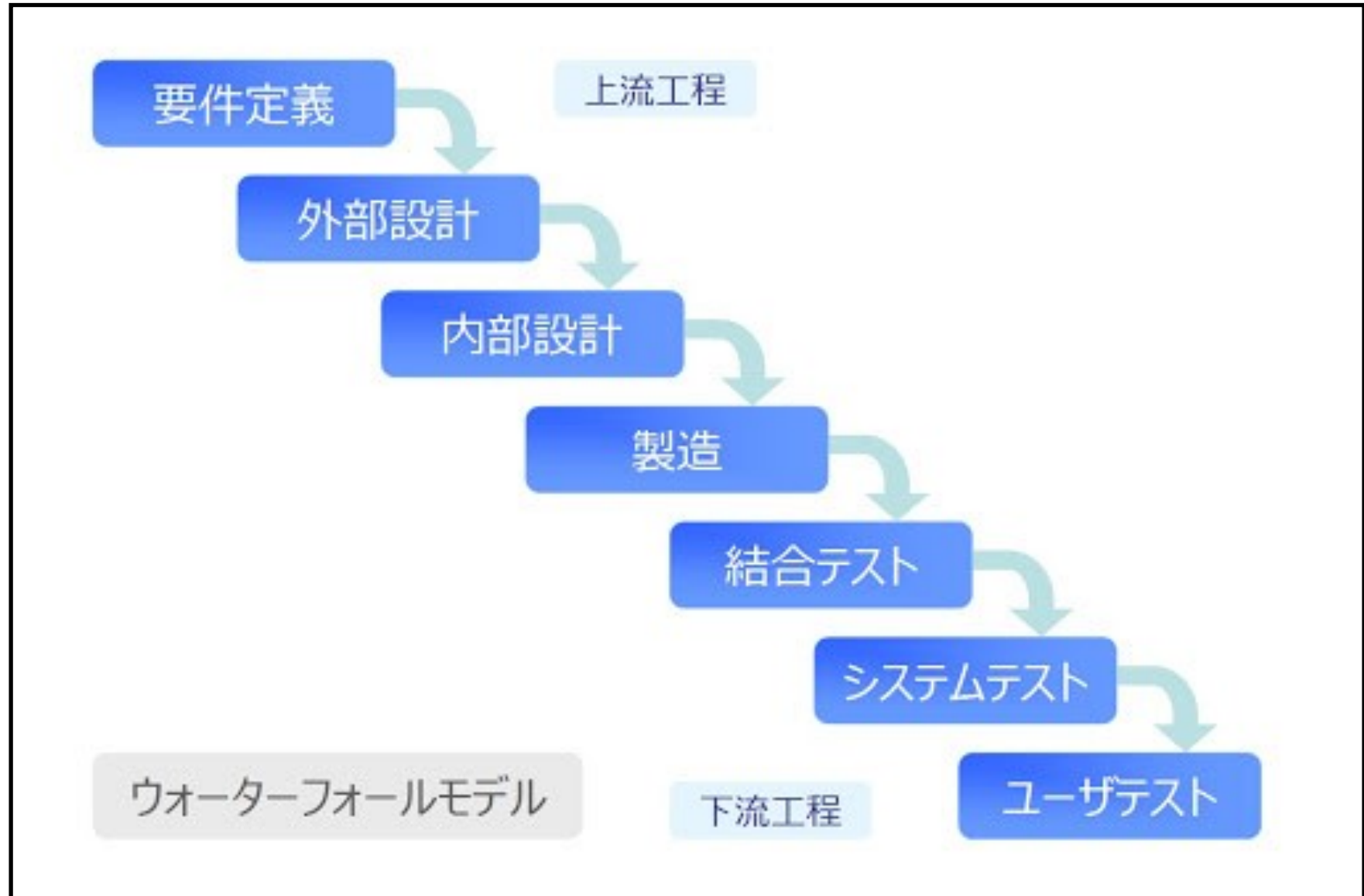
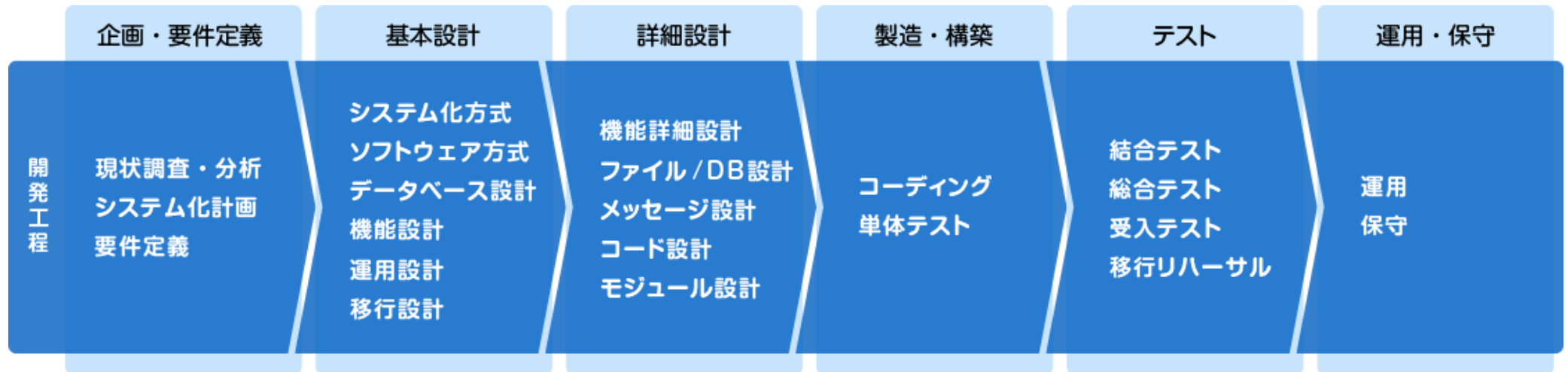


画面設計書について

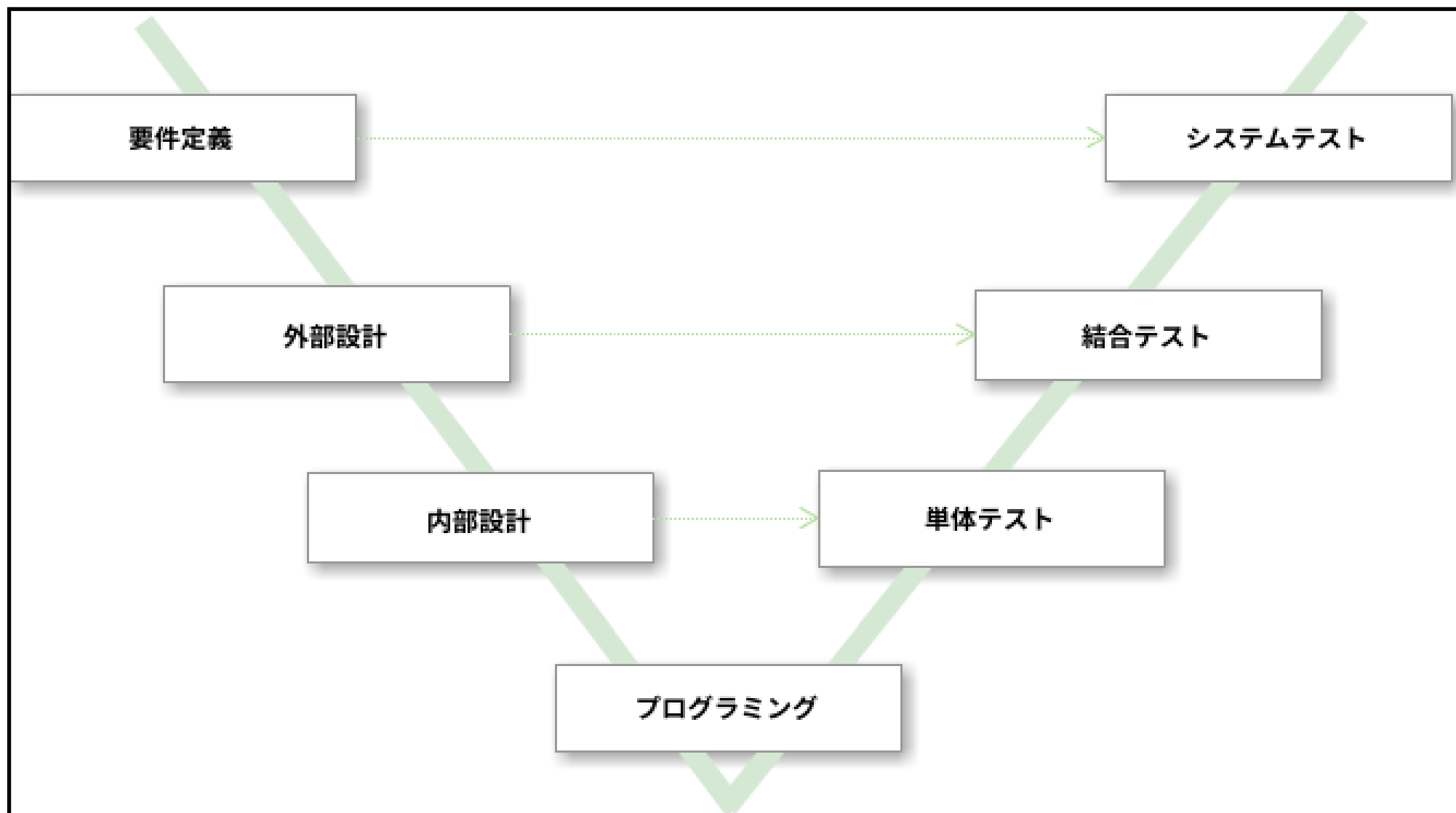
開発工程



開発工程(詳細)



開発工程(V字モデル)



必要な成果物一覧(上流工程)

| 工程 | 要件定義 | 外部設計 | 内部設計 |
|-----|--|--|--|
| 成果物 | <ul style="list-style-type: none">要件定義書システム化背景,現状のフローシステム導入の目標システム概要システムの具体的な機能既存システムとの比較導入後のフローシステム要求セキュリティ要求 | <ul style="list-style-type: none">ハードウェア構成図ソフトウェア構成図ネットワーク構成図アプリケーション構成図画面設計書<ul style="list-style-type: none">画面一覧画面遷移図画面レイアウト画面入出力項目一覧画面アクション定義帳票設計書バッチ設計書テーブル、ファイル設計書(ER図)外部インターフェース設計書 | <ul style="list-style-type: none">コーディング規約アクティビティ図シーケンス図クラス図外部システムインターフェースSQLクエリ一覧イベント処理詳細 |

画面設計書

重要な項目

- ・画面遷移図

→画面遷移パターンを表す図。この画面が必要、不必要などを顧客とすり合わせるのに使用する。

- ・画面レイアウト(モック画面)

→各画面の完成予想図。顧客とレイアウトをすり合わせるのに使用する。

- ・画面項目一覧

→画面レイアウト上の部品について一覧にしたもの。単画面については、レイアウトと項目一覧をもって画面設計書とする。

画面設計書イメージ

画面基本データ

画面のID,名前,設計書の更新日など

画面イメージ

画面イメージを張り付けておく。画面の項目に番号を振っておく。

[illegible]

画面項目一覽

画面イメージで振っておいた項目の番号通りに一覧表にしておく。項目のタイプ、ID、名前、入力制約、イベント処理名などを書いておく。

画面設計書の書き方(中山の場合)

①画面遷移図、画面一覧を作る

ユースケース図や業務フローなどから、画面遷移図を作成する。

画面遷移図から、画面の一覧表を作成する。

②各画面のイメージを作る

①で作成した画面一覧から、実際にシステムしたときのイメージ(モック画面)を作成する。(出来るだけ完成形に近いもののほうが良い。現場ではhtmlで見た目だけは完成させていました。)②までで一回顧客に確認を取る。

③各画面の設計書(画面イメージ、画面項目一覧)を書く

②で確認をした結果を遷移図、一覧、イメージに反映する。①で作成した画面一覧から、各画面ごとのイメージ、画面項目一覧を作っていく。PJの規模によるが、基本は共通部分の設計書と各画面の設計書に分けて書く。

④設計書の確認と修正を行う

(ここまでが外部設計)

画面設計書の書き方 2 (中山の場合)

⑤イベント処理詳細を書く

(ここから内部設計)

イベント処理の詳細設計図(シーケンス図やプログラム詳細)を書く。※内部設計は顧客に確認してもらう必要なし。